## 令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

耈	科名	3 数	学	科目名	数学B&C	単位数	2	履修学年・クラス	3ABC	選択者	
担	当者	<b>F</b>			〇最新 数	○最新 数学B(数研出版) ○最新 数学C(数研出版)					
学習目標					Þ社会生活などと結びつけ、数学の				□理する:	力を養う。	
学習方法	<ul><li>○等差数列や等比数列の性質を理解させたうえで、一般項や和を求めさせたり、有用な事例を紹介の上調べ学習をさせる。</li><li>○確率変数、確率分布、二項分布、正規分布について理解させ、統計の図表から何が読み取れるかを体感させる。</li><li>○ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、成分表示について理解させ、日常生活に活用させる。</li></ul>										
		評価の観点		科目の評価の観点の趣旨							
学	***   ***										
子習評	思	<b>思考判断表現</b> 事象を数学的に考察し、思考の過程を振り返って数学的な見方や考え方を身に付けようとする。									
価									解し、基	本的な概	
	<b>※</b> 定	≧期考査については、.	L記の観点それ	ぞれについて学習の	P容に応じて適切に配分しています。	•					

期			学習内容		評価の観点 態度を現り競技能			単元(題材)の評価規準	評価方法
		1	数列			0		【態度】数を順に一列に並べたものという素朴な形で数列を 捉えるとともに、それらの間にある規則性について考察しよう	・作品 ・プリント ・考査
1	数学B 第1章 数列 第1節 数列とその和	2	等差数列	0		0		とする。	
前		3	     等差数列の和	0		0		【思考判断表現】数列の各項から規則性を見つけ、第n項を 求めることに気付く。	
期中				Ŧ		Ē		  【知識理解】等差数列や等比数列の一般項と第n項を求める	
間			等比数列	0		0		ことができる。また、Σの記号に習熟することで、いろいろな  数列を表現し処理する方法を見つけることができる。数列に	
		5	等比数列の和	0		0		おける基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解し ている。	
		6	和の記号Σ		0	0			
			ベクトル	0	0	0		【態度】ベクトルについての基本的な概念に関心をもつととも に、数学的な見方や考え方を認識し、平面図形や空間図形	·授業観察 ·作品
	数学C 第1章 ベクトル 第1節 平面上のベク トル	2	ベクトルの和			0		の性質等の考察に活用しようとする。	・プリント ・考査
		3	ベクトルの差			0		【思考判断表現】ベクトルにおける数学的な見方や考え方を 身に付け、平面図形や空間図形の性質等を数学的にとらえ、	
前		_						論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的、発展 的に考え	
期末		4	ベクトルの実数倍		0	0		ることができる。	
		5	ベクトルの成分	0	0	0		【知識理解】ベクトルにおいて、事象を数学的に考察し、表現 し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解	
		6	ベクトルの成分と演算		0	0		決することができる。ベクトルにおける基本的概念、原理・法 則、用語・記号を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
		7	ベクトルの内積	0	0	0			
								Ⅰ 【態度】ベクトルについての基本的な概念に関心をもつととも	•授業観察
	数学C 第1章 ベクトル 第2節 ベクトルと平面 図形	1	内積の性質	0	0	0	0	に、数学的な見方や考え方を認識し、平面図形や空間図形の性質等の考察に活用しようとする。	・ 技未観奈 ・ 作品 ・ プリント ・ 考査
								【思考判断表現】ベクトルにおける数学的な見方や考え方を	
					0			身に付け、平面図形や空間図形の性質等を数学的にとらえ、 論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的、発展	
後		2	位置ベクトル			0	0	的に考えることができる。	
期中		i –						単元	
間		3	ベクトルと図形	0	0	0	0	し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。ベクトルにおける基本的概念、原理・法	
					Ш			則、用語・記号を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
	数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布	_	確率変数と確率分布			0		【態度】確率分布、期待値や標準偏差からどの程度その事象について事象の起き方に難易があるか確認したりしようとす	•授業観察
ł				0	<u> </u>	0		る。	・作品 ・プリント
1		4	分散と標準偏差 二項分布		0	0		┃ ┃【思考判断表現】確率分布、期待値や標準偏差を調べてどの	·考査
		5	一切	0		0			
,,,			正規分布	Ť		0		ిం.	
後期								┃ 【知識・技能】確率分布を作れる、期待値や標準偏差を計算	
期末								できる、二項分布や標準正規分布を利用して事象の起きや	
~1								すさを調べられる。 	
				_					
				-	<u> </u>				
1				+	<del>                                     </del>	-			
				+	<del>                                     </del>				